

# MS&AD Report

立ちどまらない保険。

MS&AD MS&ADホールディングス

証券コード：8725

中間ご報告 2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日

## 持続的成長と企業価値向上を 追いつける世界トップ水準の 保険・金融グループを創造します。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2017年度中間期（2017年4月1日から2017年9月30日まで）のご報告をお届けします。

今年度、国内では台風や豪雨の被害が相次ぎ、海外においても、北米のハリケーンやメキシコの巨大地震など、多くの巨大災害に見舞われました。このところの自然災害は大型化し、世界各国で大きな被害をもたらしています。被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。当中間期は、これらの影響を織り込み、大変厳しい決算となりました。

一方、現グループ中期経営計画「Next Challenge 2017」では、当社は健全性を高めるとともに、着実に収益力を高めてきており、昨年度まで5期連続で増益を実現してまいりました。これらを踏まえ、2017年度中間配当金は、前年同期に比べ1株あたり15円増配し、65円とさせていただきます。

中期経営計画の最終年度となる今年度は、シンガポール最大の損害保険会社ファーストキャピタル社買収合意や、豪チャレンジャー社、英リアシユア社への資本参加を決める一方、国内初の運転挙動反映型テレマティクス自動車保険



取締役社長  
グループCEO  
柄澤 康喜

の発売を予定するなど、持続的成長に向けた布石を着実に打ってきております。現在、社会環境の大きな変革の中で、経営ビジョンを実現すべく、2018年度から始まる次の中期経営計画におけるグループ戦略を鋭意検討中です。

引き続き、グループの強みである「多様性」を発揮し、社会の変化や、お客さまニーズに対応し、持続的な成長を実現してまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

目標項目	2017年度 中間期	2017年度 目標	2017年度 (年初予想)	2017年度 (今回予想)
グループコア利益 <sup>※1</sup>	581億円	2,200億円	2,300億円	1,150億円
国内損害保険事業	951億円	1,350億円	1,450億円	1,490億円
国内生命保険事業	218億円	150億円	170億円	250億円
海外事業	△611億円	650億円	640億円	△630億円
金融サービス事業/ リスク関連サービス事業	22億円	50億円	40億円	40億円
連結正味収入保険料	18,641億円	35,700億円	34,500億円	34,500億円
コンバインド・レシオ (国内損保) <sup>※2</sup>	85.0%	93%台	92.9%	92.6%
三井住友海上あいおい生命 EV <sup>※3</sup> 増加額	363	500超	500	500
グループROE <sup>※4</sup>	—	7.5%	8.4%	4.0%

※1 グループコア利益：MS&ADインシュアランスグループ独自の利益指標で、次の方法により算出します。

グループコア利益 = 連結当期利益 - 株式キャピタル損益(売却損益等) - フレジットデリバティブ評価損益 - その他特殊要因<sup>※5</sup> + 非連結グループ会社持分利益

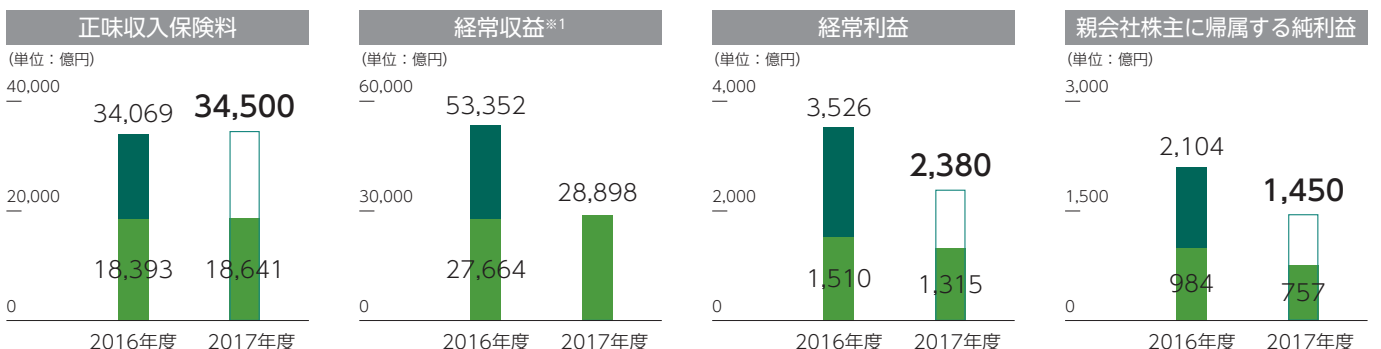
※2 コンバインド・レシオ：正味損害率と正味事業費率を足した数値です。

※3 EV：エンベディッド・バリューの略であり、評価時点の純資産価値に、保有契約が将来生み出す利益の現在価値を加えた数値です。

※4 グループROE：グループコア利益 ÷ 連結純資産(期初・期末平均、除く新株予約権・非支配株主持分)

※5 その他特殊要因には、企業買収にかかる、のれん及び無形固定資産の償却額を含みます。

### MS&ADホールディングスの状況 (連結)



※1 経常収益については、業績予想を行っておりません。  
(注) 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベースです。



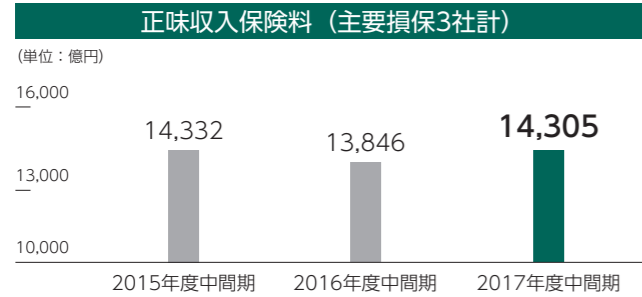
## 事業毎の状況

国内損害保険子会社の正味収入保険料は、火災保険や自賠責保険を中心に増収したことにより、前年同期比プラス3.3%の1兆4,305億円となりました。

国内生命保険子会社については、生命保険料は減少したものの、保有契約の増加に伴う利ざやの増加などにより増益となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、国内損害保険子会社および国内生命保険子会社は増益となりましたが、海外保険子会社が北米ハリケーン等の損害などにより大幅な減益となったことで、前年同期比マイナス226億円の757億円となりました。

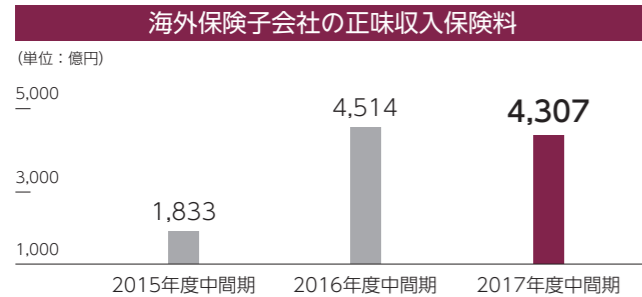
### 国内損害保険事業



**2017年度中間期 会社別内訳** (単位：億円)

三井住友海上 (単体) ※1	7,816
あいおいニッセイ同和損保 (単体)	6,301
三井ダイレクト損保 (単体)	186
合計	14,305

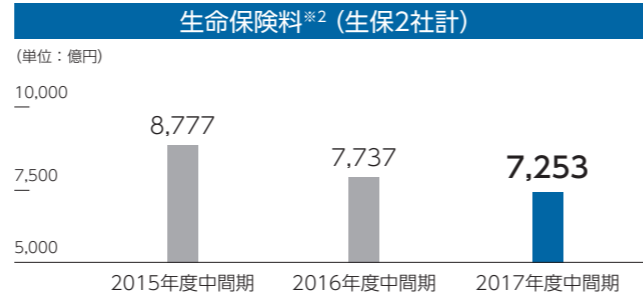
### 海外事業



**2017年度中間期 地域別内訳** (単位：億円)

アジア	813	米州	259
欧州	3,235	合計	4,307
(うちMS Amlin※3)	2,985)		

### 国内生命保険事業



**2017年度中間期 会社別内訳** (単位：億円)

三井住友海上あいおい生命 (単体)	2,427
三井住友海上プライマリー生命 (単体)	4,826
合計	7,253

**2017年度中間期 事業別純利益※4** (単位：億円)

三井住友海上	988
あいおいニッセイ同和損保	137
三井ダイレクト損保	10
三井住友海上あいおい生命	41
三井住友海上プライマリー生命	177
海外保険子会社	△381
その他・連結調整等	△216
中間純利益	757

※1 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベースです。  
 ※2 保険料 (グロス収入保険料) は、国内生命保険子会社のみです。  
 ※3 2016年度末にMS Amlinにロイズ・再保険事業を統合しています。  
 ※4 連結の中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益を記載しています。子会社の中間純利益は、出資持分ベースです。

## 株主還元方針と実績

### 株主還元方針

「配当」と「自己株式取得」を通じ、中期的に「グループコア利益」の50%相当額を目処に株主還元を行ってまいります。

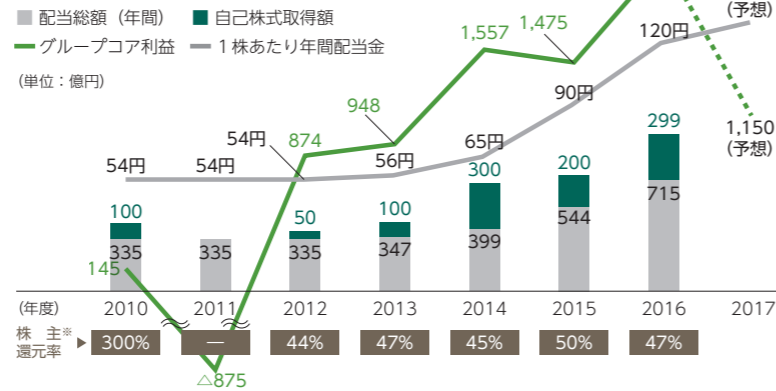
#### 配当

安定性維持を基本とし、収益力をさらに高めて、中期的に増配基調を目指します。

#### 自己株式取得

市場環境・資本の状況も勘案して、機動的・弾力的に実施します。

### 株主還元 年度別実績



※ 株主還元率 = (当年度に関する配当 (当年12月、翌年6月) + 次年度の定時株主総会開催日までに決定した自己株式の買付け) ÷ 当年度の「グループコア利益」

## トピックス

# TOPICS 社会の持続的な発展に向けた貢献

～社会的課題解決に寄与する商品・サービス～

当社グループは、私たちの目指す「活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を支えるために、それを阻害する社会的課題から生じる多様なリスクをいち早く見つけ、お伝えし、リスクの発現を防ぎ、リスクが現実となったときの経済的負担を小さくするためのさまざまな商品・サービスを提供することで、世界中のチャレンジするお客さまが安心して生活や事業活動を行うことのできる環境づくりを行います。

これらの取り組みは、持続可能な開発目標 (SDGs) ※の実現にもつながります。



※2015年9月「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられている貧困や健康、気候変動など17の目標と169のターゲット

## 1 多発する事故・災害から人々や企業を守ります

関連する主なSDGs

**商品・サービス**

**三井住友海上**  
 運輸安全マネジメント認定セミナー受講者向けの特約販売等を通じ、企業の安全取組の浸透・定着を支援

**あいおいニッセイ同和損保**  
 「脳MRI健診」受診による運送事業者向け商品の保険料割引等を通じ、ドライバーの脳疾患による事故防止に貢献

## 2 気候変動や自然資本の劣化に立ち向かいます

関連する主なSDGs

**商品・サービス**

**三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保**  
 洪水による被害を予測する新リスク評価システムを開発※。台風以外の梅雨前線や集中豪雨などによる洪水被害の予測も可能とし、防災対策に寄与  
 ※株式会社インターリスク総研および米国の大手自然災害リスク評価専門家と協働での開発

## 3 高齢社会のリスクに向き合い健康で豊かな生活を支えます

関連する主なSDGs

**商品・サービス**

**三井住友海上あいおい生命**  
 国内生命保険業界初「バーチャル・リアリティ」映像を利用した医療関連の情報提供を開始

**三井住友海上プライマリー生命**  
 多様なお客さまニーズや市場の変化を捉えた「資産形成型生命保険商品」を安定的に提供

## 4 地域社会の活性化と持続可能な発展を支援します

関連する主なSDGs

**商品・サービス**

**三井住友海上**  
 世界規模の感染症発生に備えて世界銀行が設立した「パンデミック緊急ファシリティ」に参画

**三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保**  
 地方公共団体と連携、包括協定等を通じ、地域の独自性を活かした提案や産業振興を通じ地方創生に寄与

Dow Jones Sustainability Index※に2年連続選定  
 保険業界においては、世界で4位、アジアでトップの評価を獲得しました



環境省「環境 人づくり企業大賞2016」環境大臣賞を受賞

※ESG投資 (Environmental: 環境、Social: 社会、Governance: 企業統治を考慮する投資) の代表的な指数



# 会社概要／株式の状況

## 会社概要 (2017年9月30日現在)

社名	MS&ADインシュアランスグループ ホールディングス株式会社
本店所在地	東京都中央区新川二丁目27番2号
設立	平成20年(2008年)4月1日
資本金	1,000億円
従業員数	41,438名(連結)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵送物送付先) (電話照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031

## 株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行済株式の総数	593,291,754株	
株主数	61,955名	
所有者別株式分布状況		
外国人・外国法人	金融機関	個人・その他
21,679万株 (36.6%)	20,300万株 (34.2%)	5,412万株 (9.1%)
	その他国内法人	証券会社
	9,835万株 (16.6%)	2,101万株 (3.5%)

特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社および 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。 <a href="http://www.ms-ad-hd.com/ir/notification/index.html">http://www.ms-ad-hd.com/ir/notification/index.html</a>

## 株式に関するお手続きについて

### 1. お受け取りがお済みでない配当金を受け取るお手続き

三井住友信託銀行株式会社までお申し出ください。  
なお、配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

### 2. その他のお手続き

- (1) 証券会社に口座をお持ちの場合：お取引引きの証券会社へお申し出ください。
- (2) 証券会社に口座をお持ちでない場合：特別口座での管理となっておりますので、三井住友信託銀行株式会社または三菱UFJ信託銀行株式会社へお申し出ください。

### お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-782-031

三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1番地の1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711

## WEBサイトのご案内

<http://www.ms-ad-hd.com>

MSAD

検索



当社WEBサイトでは、株主・投資家の皆さまへのIR情報・財務情報をはじめ、最新のニュースや社会貢献活動への取組みなど、さまざまな情報を掲載しております。また、Eメールアドレスをご登録いただいた皆さまには、ニュースリリースをお知らせしておりますので、是非ご利用ください。



トップページ



株主・投資家情報

立ちどまらない保険。

MS&AD MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

